

## 新登録答申文化財概要（三重県）

### ● 星出館主屋 等 2件 （伊勢市）

【名称】 星出館 主屋、塀 計2件

ほしでかん おもや、へい

【種別】 国登録有形文化財（建造物）

【所在地】 伊勢市河崎二丁目

【年代】 主屋：昭和2年、塀：昭和2年頃／平成30年改修

【建築面積】 主屋 326 m<sup>2</sup>、塀 10m

伊勢市河崎は、市街地中心部を流れる勢田川の両岸に広がる町で、江戸時代には勢田川の水運を活かして伊勢神宮の参拝客への物資を集積する問屋街として栄え、現在も伝統的なまちなみが残っています。星出館は、勢田川沿いではなく、大正13年に開通した県道に面して昭和2年に建てられた旅館です。当初の名称は「花屋」でしたが、昭和27年に現在の「星出館」に変更しています。

主屋は入母屋造棧瓦葺の2階建てで、不定形の敷地に雁行して建てられています。玄関は唐破風屋根で重厚感のある外観となっています。1階は玄関を入ったところに洋間の応接室があり、食堂・炊事場・浴室・事務室があります。2階は客室で、中庭をはさんで北に7室、南に5室があります。客室「菊」は10畳間で床の間の幅も他の部屋に比べて大きく、凝った意匠の欄間もあり、格の高い部屋と考えられます。このほかの客室も、笠をかたどった欄間障子や竹で描かれた富士山が印象的な客室「ぼたん」など、意匠を凝らした造りとなっています。中庭周りの2階は廊下で、南の一部は趣向を凝らした赤い橋の渡り廊となっています。

玄関に向かって右側に建つ塀は、棧瓦葺きで上部が楕円形下地窓を開けた漆喰壁、腰部が縦板張りです。主屋と同時期の建築と考えられ、旅館の外観を整える役割を果たしています。

星出館は、昭和初期の宿の姿を現在に残す貴重な建物です。現在も外国人観光客など多くの人が利用する旅館として親しまれています。



外観



玄関



客室「菊」



客室「ぼたん」



2階 橋



塀